

新たなサービス開発に向けた オープンデータ活用

2021年2月

株式会社ベスプラ



ベスプラ

1. 株式会社ベスプラの紹介
2. 健康サービスの課題および解決策
3. フードロス削減の課題および解決策
4. オープンデータへのお願い

1. 株式会社ベスプラの紹介

2. 健康サービスの課題および解決策

3. フードロス削減の課題および解決策

4. 東京のオープンデータへのお願い

■ ビジョン

ICTで社会課題を解決する

■ バックボーン

全員ヘルスケアのエンジニア

■ 強み

大手生保・銀行にも認められる
高い技術力。(クラウドや機械学習)



代表 遠山 陽介
PM・ディレクター
ソフトウェア業界：13年



CIO 吉野 淳一
インフラエンジニア
ソフトウェア業界：17年



CTO 鹿野 英紀
フロントエンジニア
ソフトウェア業界：9年



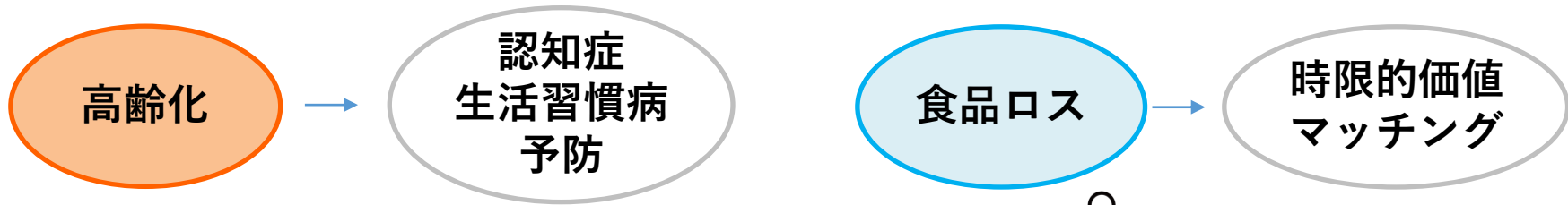
CTO 渡辺 光章
バックエンドエンジニア
ソフトウェア業界：9年



COO 荒井 健太
データサイエンティスト
ソフトウェア業界：8年



CMO 山岡 貴
モバイルエンジニア
ソフトウェア業界：8年



脳にいいアプリ

The TIMESALE

認知症予防
シェアNo.1

健康



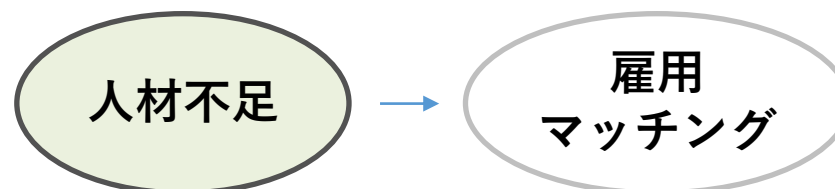
消費

地域の消費を活性化



雇用

The TIMEWORK 地域の雇用を活性化



1. 株式会社ベスプラの紹介

2. 健康サービスの課題および解決策

3. フードロス削減の課題および解決策

4. オープンデータへのお願い



認知症患者数(MCI含む)

医療費

日本：[2025年]約**1364万人**

約**13兆円**

世界：[2050年]約**1億3500万人**

約**130兆円**



認知症のない世の中を作りたい

現状把握

予防

家族のケア

認知機能検査
「記憶と判断」

脳の健康維持
「脳にいいアプリ」

家族と繋がる
「家族サイト」



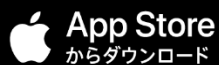
検査

予防

共有

脳科学に基づいた[脳にいいアプリ]

9



特開2017-223785

通知

運動

脳トレ

食事

評価



★第一生命の認知症保険

★三菱UFJ信託銀行のアプリ

介護IT
ビジネス
コンテスト
グランプリ

内閣府
ImPACT
BHQ2017
科学者審査員賞

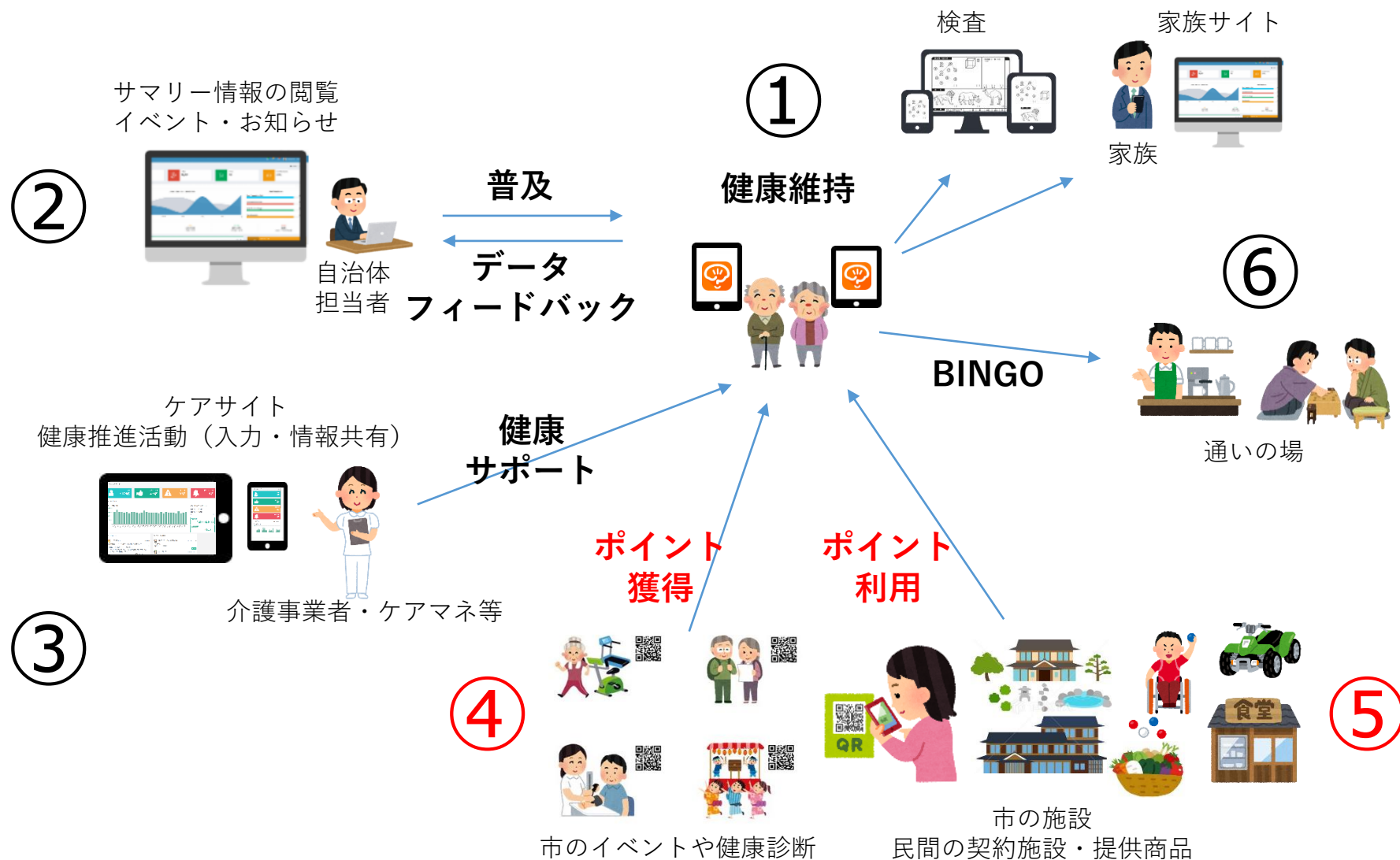
経産省
JHeC
2019
セミファイナル選抜

厚生労働省
知財戦略
策定支援
採択

地銀7社
ビジネス
コンテスト
グランプリ

人は必ず飽きる。

様々なイベント・情報で
人を、気持ちを、動かす



オープンデータは宝。もっと広めてほしい 13

健康の大事な要素、外に出る（体を動かす）事には、その人の興味のある「**きっかけ**」や「**気づき**」が必要。

【**だれでも東京**】には、レジャーや公園、飲食店など**多様な情報が機械的に読み込める**ためサービス利用可

当アプリでは【**だれでも東京**】のデータを読み取り「今日この公園に行き、脳トレするとPOINT獲得！」
日替わり・週替わりでデータがあるだけ実施できる。

1 企業で情報収集は不可能。**オープンデータ**は自治体様にも提案でき、**サービスで臨機応変**に活躍。

1. 株式会社ベスプラの紹介
2. 健康サービスの課題および解決策
- 3. フードロス削減の課題および解決策**
4. オープンデータへのお願い



食品を捨てている総量

経済損失

日本：約**646万トン**

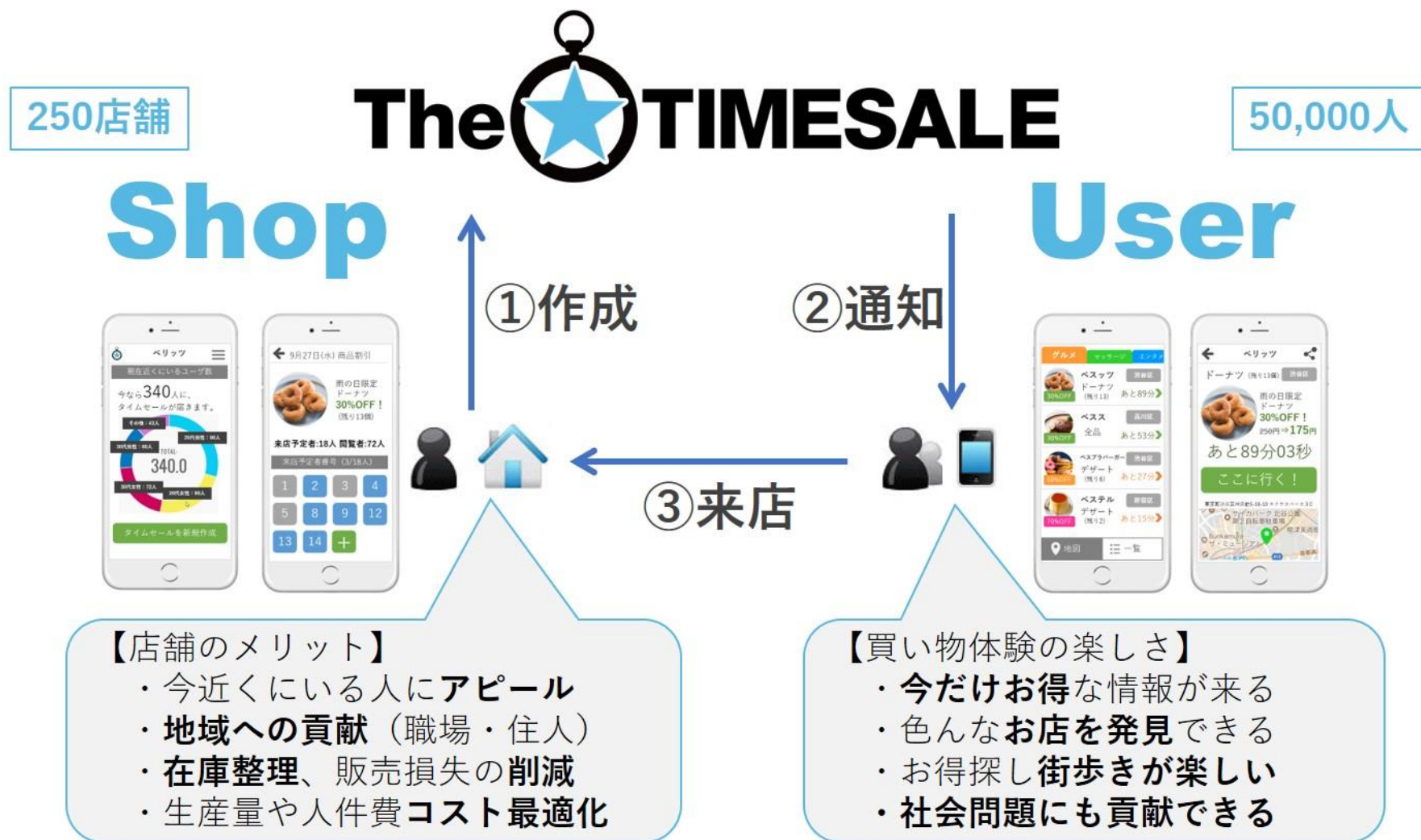
約**2兆円**
(ゴミ処理費)

世界：約**13億トン**

約**84兆円**



食品ロスを無くしたい



店舗画面

誰でも簡単
30秒で登録

近くにいる人を確認



タイムセールを作成



タイムセールの
顧客や在庫管理も簡単

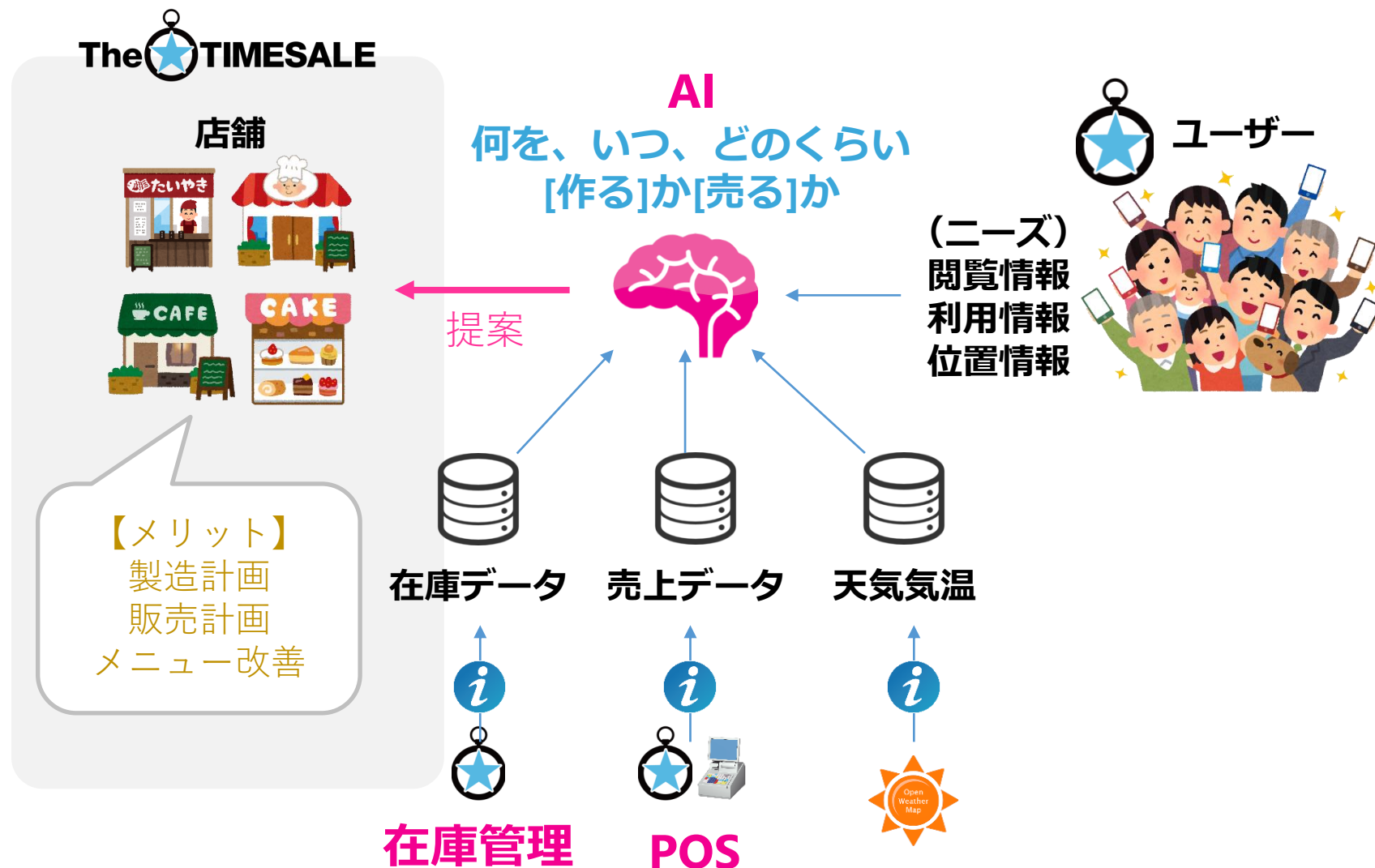


ユーザーへ
通知

ユーザー画面

アプリは
完全無料！





需要予測は難しい。

データ・情報を見て
仕入れ・販売を工夫する

The  **TIMESALE**

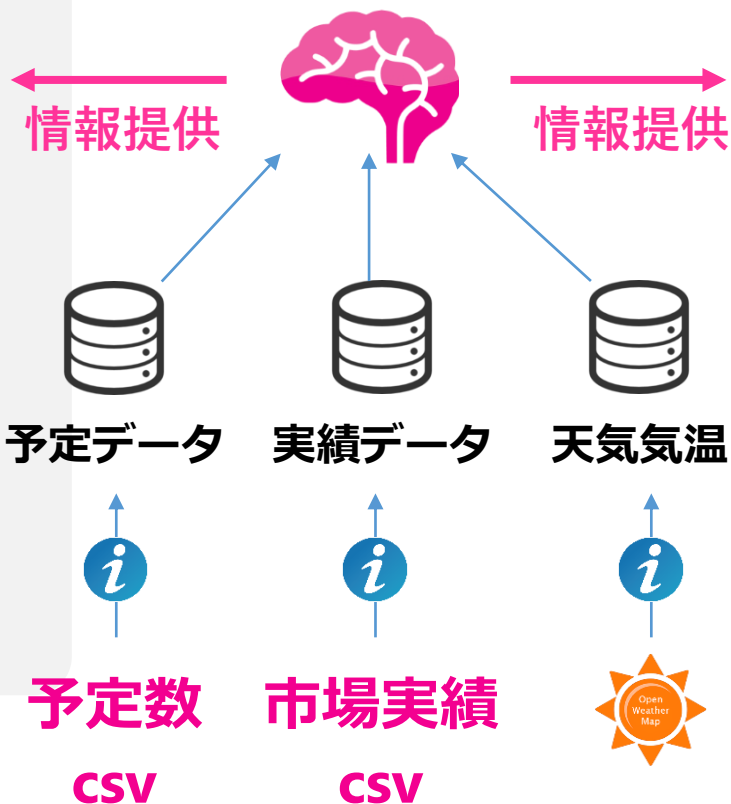
店舗



【メリット】
仕入れ計画
在庫計画
ロス削減

AI

何が、いつ、どのくらい、いくらで
販売されるか？ロスの量は？



卸業者・企業



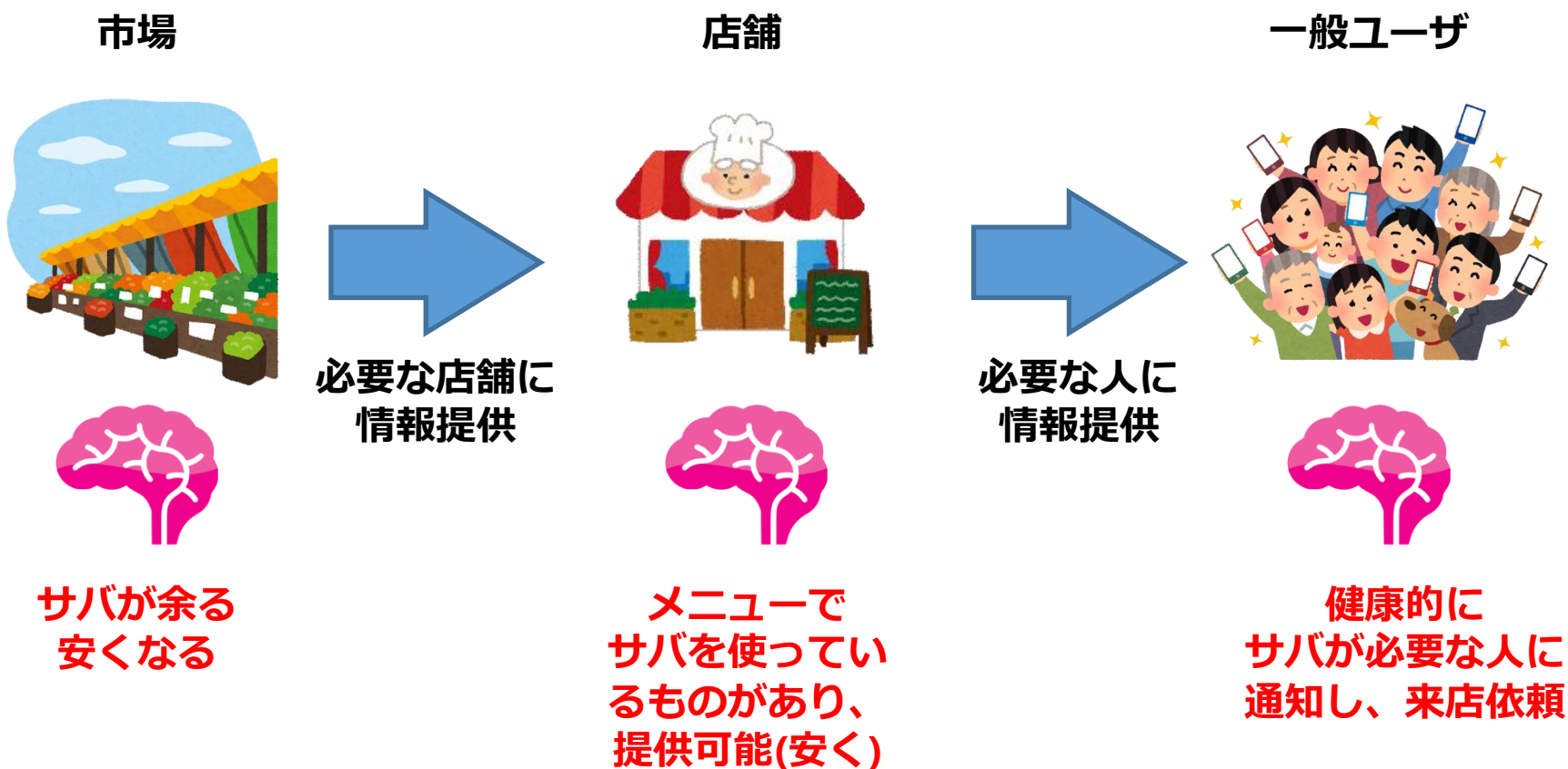
現状、外食産業における需要予測ができておらず、店舗は**仕入れや在庫管理を人の感覚**で対応している。

AIの技術が発達し、予想と実績データを集積すると需要やロスの予想が可能になった。

この予測データは、東京の店舗・企業の仕入れや在庫管理の判断に必ず生かされ、フードロス削減に繋がる上流の大きな情報源となる。

ただし、需要構造は可変なのでデータを継続して貯めていく必要があります。

AIを活用したベスプラのサービス



1. 株式会社ベスプラの紹介
2. 健康サービスの課題および解決策
3. フードロス削減の課題および解決策
4. オープンデータへのお願い

①周知のお願い

サービス事業者から見て、オープンデータの重要性は更に高まっているが、存在に気付かない事業者もいる。
(私も知りませんでした。。)

②継続のお願い

- ①市場CSVを機械読み取りできる形式で提供
- ②だれでも東京のデータをさらに拡大(飲食店)
- ③当該データの継続・普及